

2025年3月期 決算説明会

ウシオ電機株式会社
2025年5月13日

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

*売上高は外部顧客向け。営業利益率は、外部顧客向け売上高に対する比率を記載しております。

未来は光でもっと楽しくなる

USHIO

ウシオ電機代表取締役社長の朝日です。

本日はお忙しいところ、弊社「2025年3月期決算説明会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日ウェブサイトにて開示した資料にもとづき、決算内容をご説明します。

2024年度 通期業績実績

- 減収減益も、売上・利益ともに計画を上回り着地
 - 事業の取捨選択による効率化で収益性が改善
 - 半導体市況低迷による投資先送り
 - 将来に向けた先行投資拡大
 - 事業ポートフォリオ変革に伴う評価損計上
- BSマネジメント強化により棚卸資産の圧縮が進み、フリーCFが改善

2025年度 通期業績予想

- 減収増益
- 株主還元は、新成長戦略に則り実施の方針

新成長戦略*

- 事業ポートフォリオ変革は着実に進捗
- 経営方針及び係数目標の変更なし

* 新成長戦略の進捗はこちらを参照ください => https://www.ushio.co.jp/ir/library/brief_note/

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 2

本日、お伝えしたいことは記載の3点です。

2024年度実績は、減収減益でしたが、売上・利益ともに期初計画及び修正公表値を上回り着地しました。

将来に向けた先行投資を拡大させましたが、事業の取捨選択により収益性の改善が進みました。

また、本日は時間の都合上、詳細説明は割愛しますが、バランスシートマネジメントの強化により棚卸資産圧縮を進め、フリーキャッシュフローが改善しました。

2025年度の業績予想は、減収増益を計画しています。

株主還元については、新成長戦略の方針に則り実施する予定です。

新成長戦略については、1年目の進捗及び今後の方向性を後ほどご説明します。

それでは、2024年度の業績についてご説明します。

(スライド4ページへ)

I. 2024年度 業績概要

II. 2025年度 通期業績予想

III. 参考資料

売上高
1,776億円

前年同期比：18億円減（▲1.0%）

- Industrial Process事業：半導体市況低迷により減収
- Visual Imaging事業：円安効果により増収

営業利益
88億円

前年同期比：41億円減（▲32.0%）

- 事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損を計上
- 将来に向けた先行投資拡大

親会社株主に帰属する
当期純利益
67億円

前年同期比：39億円減（▲37.0%）

- 【特別利益】 投資有価証券売却益 95億円（2023年度：70億円）
- 【特別損失】 事業構造改善費用 57億円（2023年度：-億円）
減損損失 11億円（2023年度：71億円）

2024年度の業績ですが、
売上高は18億円の減収、
営業利益は41億円の減益、
当期純利益は39億円の減益となりました。

売上高は、半導体市況の低迷による影響で露光装置の販売が減少し減収。
営業利益は、減収に加え、事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損の計上や
将来に向けた先行投資の拡大で減益。
当期純利益は、投資有価証券売却益を計上した一方で、事業構造改善費用の計上も
あり減益となりました。

なお、前回予想に対して、売上高、営業利益ともに計画を上回り着地しました。
詳細はこの後、セグメント別業績ページでご説明します。

次に、営業利益の増減内容をステップチャートでご説明します。

(スライド6ページへ)

2024年度：財務ハイライト

USHIO

単位：億円	2023年度 実績	2024年度 実績	前年同期比		予想 (2024.11.6)	予想比	
			増減額	増減率		差異	達成率
売上高	1,794	1,776	▲18	▲1.0%	1,750	+26	101.5%
営業利益	129	88	▲41	▲32.0%	75	+13	117.7%
営業利益率	7.2%	5.0%	▲2.3P	-	4.3%	+0.7P	-
経常利益	160	124	▲36	▲22.6%	95	+29	131.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	107	67	▲39	▲37.0%	60	+7	113.3%
EPS (円)	97.22	70.27	▲26.95	▲27.7%	62.39	+7.88	112.6%
ROE	4.5%	3.1%	▲1.4P	-	2.7%	+0.4P	-
為替レート (円)	USD	144	+9	-	150	+3	-
	EUR	156	+8	-	161	+3	-

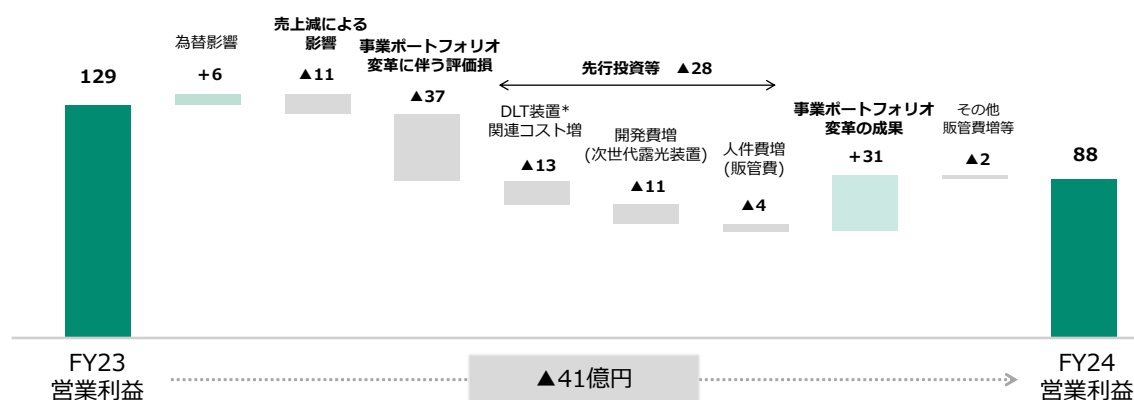
Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

5

2024年度：営業利益 増減分析(前年同期比)

事業ポートフォリオ変革の成果が具現化しつつも、売上減や先行投資等拡大及び評価損計上で減益

単位：億円



* DLT装置：アプライドマテリアルズ社との業務提携によるDLT(デジタルリソグラフィ技術)搭載の露光装置のこと。以降のページ同様

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

6

41億円減益の主な要因は、売上減による11億円の減益、事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損37億円及び将来を見据えた先行投資拡大28億円によるものです。一方で、事業ポートフォリオ変革の成果が出始めており、31億円の増益効果となりました。

続いて、セグメント別の業績をご説明します。

2024年度：セグメント別業績

	単位：億円	2023年度 実績	2024年度 実績	前年同期比		予想 (2024.11.6)	予想比	
				増減額	増減率		差異	達成率
Industrial Process	売上高	821	789	▲31	▲3.9%	800	▲10	98.7%
	営業利益 (営業利益率)	108 (13.2%)	96 (12.2%)	▲12 (▲1.1P)	▲11.5% -	75 (9.4%)	+21 (+2.8P)	128.3% -
Visual Imaging	売上高	805	808	+3	+0.5%	780	+28	103.7%
	営業利益 (営業利益率)	58 (7.3%)	7 (0.9%)	▲51 (▲6.4P)	▲87.6% -	20 (2.6%)	▲12 (▲1.7P)	36.5% -
Life Science	売上高	52	61	+8	+17.2%	55	+6	111.1%
	営業利益 (営業利益率)	▲23 (▲44.7%)	▲10 (▲17.7%)	+12 (+27.0P)	- -	▲14 (▲25.5%)	+3 (+7.8P)	- -
Photonics Solution	売上高	102	103	+0	+0.7%	100	+3	103.1%
	営業利益 (営業利益率)	▲15 (▲14.8%)	▲4 (▲4.0%)	+10 (+10.7P)	- -	▲6 (▲6.0%)	+1 (+2.0P)	- -
その他	売上高	13	13	+0	+5.2%	15	▲1	91.6%
	営業利益 (営業利益率)	1 (10.4%)	0 (6.0%)	▲0 (▲4.4P)	▲39.4% -	0 (0.0%)	+0 (+6.0P)	- -
連結合計	売上高	1,794	1,776	▲18	▲1.0%	1,750	+26	101.5%
	営業利益 (営業利益率)	129 (7.2%)	88 (5.0%)	▲41 (▲2.3P)	▲32.0% -	75 (4.3%)	+13 (+0.7P)	117.7% -

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

7

2024年度実績についてはこの後、各セグメントごとに詳細をご説明します。

前回予想に対して、露光装置の一部案件で契約の変更が生じたことで、追加的に収益を認識したこと。また、コスト抑制を進め、稼働低迷により発生している稼働損を軽減できたことから利益率が改善しました。

ビジュアルイメージング事業は、円安効果で売上高は増加も、棚卸資産評価損の一時コストが第4四半期で発生し、営業利益は未達となりました。

2024年度：Industrial Process事業

単位：億円	2023年度 実績	2024年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	821	789	▲31	▲3.9%
営業利益	108	96	▲12	▲11.5%
営業利益率	13.2%	12.2%	▲1.1P	-
サブセグメント別売上高				
露光用ランプ	140	149	+8	+6.1% ③
OA用ランプ	55	60	+5	+9.4%
光学機器用ランプ	102	109	+6	+6.8%
光源事業合計	298	319	+20	+6.9%
露光装置	329	290	▲38	▲11.7% ①
光学装置その他	193	179	▲14	▲7.3% ②
光学装置事業合計	522	469	▲52	▲10.1%
Industrial Process事業合計	821	789	▲31	▲3.9%

■売上高：前年同期比 31億円減収

- 半導体市況の低迷による投資先送りの影響で装置販売が減少 ①
- EUV関連のメンテナンス収入が減少 ②
- 稼働が堅調及び円安効果により増収 ③

■営業利益：前年同期比 12億円減益

- 露光装置減収の影響及び将来に向けた先行投資拡大
- 案件の絞り込みで販管費を抑制

続いて、セグメント別業績をご説明します。
まず、インダストリアルプロセス事業です。

売上高は、露光装置の販売やEUVのメンテナンス収入の減少が影響し、31億円の減収。

営業利益は、EUVの開発案件絞り込みによりコストを抑制も、露光装置の減収及び先行投資の拡大で12億円の減益となりました。

2024年度：Visual Imaging事業

単位：億円	2023年度 実績	2024年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	805	808	+3	+0.5%
営業利益	58	7	▲51	▲87.6%
営業利益率	7.3%	0.9%	▲6.4P	-
サブセグメント別売上高				
プロジェクター用ランプ	126	105	▲21	▲16.7% ③
照明用ランプ	36	36	▲0	▲1.6%
光源事業合計	163	141	▲21	▲13.3%
シネマ	313	319	+6	+2.2% ②
一般映像	328	347	+18	+5.6% ①
映像装置事業合計	641	667	+25	+4.0%
Visual Imaging事業合計	805	808	+3	+0.5%

■売上高：前年同期比 3億円増収

- 大型案件(前期)が減少も、円安効果で増収 ①
- ハリウッドストライキ影響で販売が減少も、円安効果で増収 ②
- 映画館の稼働低下により販売が減少 ③

■営業利益：前年同期比 51億円減益

- 事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損(32億円)を計上
- 販管費(人件費等)が増加

ビジュアルイメージング事業です。

売上高は、前期の大型案件の減少やハリウッドストライキの影響を受け販売台数は減少も、円安効果もあり微増。

一方、営業利益は、一時的な棚卸資産評価損32億円を計上したことにより、51億円の減益となりました。

2024年度：Life Science事業 /Photonics Solution事業

Life Science事業

単位：億円	2023年度	2024年度	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	52	61	+8	+17.2%
営業利益	▲23	▲10	+12	-
営業利益率	▲44.7%	▲17.7%	+27.0P	-

■売上高：前年同期比 8億円増収

- 植物育成向けナトリウムランプの販売が増加

■営業利益：前年同期比 12億円増益

- 有望案件に投資を集中しコストを抑制

Photonics Solution事業

単位：億円	2023年度	2024年度	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	102	103	+0	+0.7%
営業利益	▲15	▲4	+10	-
営業利益率	▲14.8%	▲4.0%	+10.7P	-

■売上高：前年同期比 0億円増収

- 半導体向けデバイスの販売が堅調

■営業利益：前年同期比 10億円増益

- 投資案件の見直しでコストを抑制

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 10

ライフサイエンス事業です。

売上高は、植物育成向けナトリウムランプの販売増加が寄与し、8億円の増収。営業利益は、新規事業の精査により、有望案件への投資集中でコストを抑制し、12億円の増益となりました。

最後に、フォトニクスソリューション事業です。

売上高は、半導体向けデバイスの販売が堅調で、横ばい。営業利益は、投資案件の見直しによるコスト抑制を行い、10億円の増益となりました。

続いて、2025年度の業績予想についてご説明します。

(スライド12ページへ)

I. 2024年度 業績概要

II. 2025年度 通期業績予想

III. 参考資料

2025年度 通期業績予想について

- ・ 半導体市況低迷(生成AI除く)の継続及び円高による為替影響で減収を見込む
- ・ 構造改革*1の実施により増益を見込む

売上高	<ul style="list-style-type: none"> ● 1,700億円 (前年同期比 76億円減収) <ul style="list-style-type: none"> - Industrial Process事業 (前年同期比 29億円減収) <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の露光装置販売が減少。DLT装置は売上計上開始も、一部案件が遅延 - Visual Imaging事業 (前年同期比 48億円減収) <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター販売は堅調も、シネマ分野(光源)の固体光源化や円高が影響 	<p>*1 詳細は、『新成長戦略Phase I 進捗報告』を参照ください https://www.ushio.co.jp/jp/ir/library/brief_note/</p>
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ● 100億円 (前年同期比 11億円増益) <ul style="list-style-type: none"> - Industrial Process事業 (前年同期比 31億円減益) <ul style="list-style-type: none"> ・ 減収影響に加え、DLT装置関連の先行投資が拡大 - Visual Imaging事業 (前年同期比 37億円増益) <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期計上の棚卸資産評価損の減少及び構造改革の実施により収益性改善 	
当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> ● 70億円*2 (前年同期比 2億円増益) <p><small>*2 投資有価証券(政策保有株式含む)売却益及び事業構造改善費用の計上が想定されるものの、現時点で見積もりが困難なため予想には織り込んでおりません</small></p>	
為替前提	<ul style="list-style-type: none"> ● USD : 140円、EUR : 155円 <p><small>(参考) 為替感応度：1円変動による影響額(通期)【対USD】売上高：約10.0億円、営業利益：約1.2億円</small></p>	

2025年度の通期業績は、減収増益の見通しです。

売上高は、生成AIを除く半導体市況の低迷が継続することや、円高による為替影響で減収を見込んでいます。

営業利益は、DLT装置関連の先行投資増加も、更なる構造改革の実施により増益を見込んでいます。

なお、新成長戦略の方針に則り、投資有価証券の売却による売却益。セカンドライフ支援制度拡充や構造改革実施による事業構造改善費用の計上が想定されますが、現時点で見積もりが困難なため、予想には織り込んでいません。

為替の前提は、米ドルで140円。ユーロで155円としています。

米国の関税措置による事業等への影響について

主な想定リスクと対応策等

想定リスク①：シネマ及び一般映像分野のプロジェクトにおいて米国への輸出による追加関税
プロジェクトの約8割を中国で生産。その一部を米国へ出荷



【対応策】残り約2割の生産を行っているカナダの生産比率を向上させ軽減

想定リスク②：光源の米国への輸出による追加関税

光源は主に日本及びフィリピンで生産し、その一部を米国へ出荷



【対応策】価格転嫁により影響を軽減

想定リスク③：主に懸念される間接的な影響



- ・関税動向等の不透明感に備えた半導体産業での投資判断の遅延や停滞
- ・外国映画関税に端を発する米国映画興行やハリウッド映画製作への影響

一部影響は予想に反映も、大半は不確実性が高いため、業績予想に織り込んでおりません

引き続き動向を注視しつつ、適宜対策を講じることで、業績への影響を最小限に抑えていく方針

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 13

米国の関税措置による事業への影響ですが、主にビジュアルイメージング事業や光源ビジネスで影響が想定されます。

ただし、生産拠点の見直しや価格転嫁などの回避策により影響を軽減していくことができると考えています。

従いまして、2025年度の通期業績予想には関税措置による影響は大きくは加味していません。

間接的な影響として、主に関税動向等の不透明感から半導体産業で投資判断遅延や停滞が懸念されます。

また、外国映画関税に端を発する米国映画興行やハリウッド映画製作への影響も想定されます。

これらの一部の影響は予想に反映も、大半は不確実性が高いため、現時点で業績予想には織り込んでいません。

引き続き、動向を注視し、業績への影響を最小限に抑えるよう対応していきます。

続いて、2025年度の営業利益増益予想の内訳についてご説明します。

(スライド15ページへ)

2025年度 通期業績予想：財務ハイライト

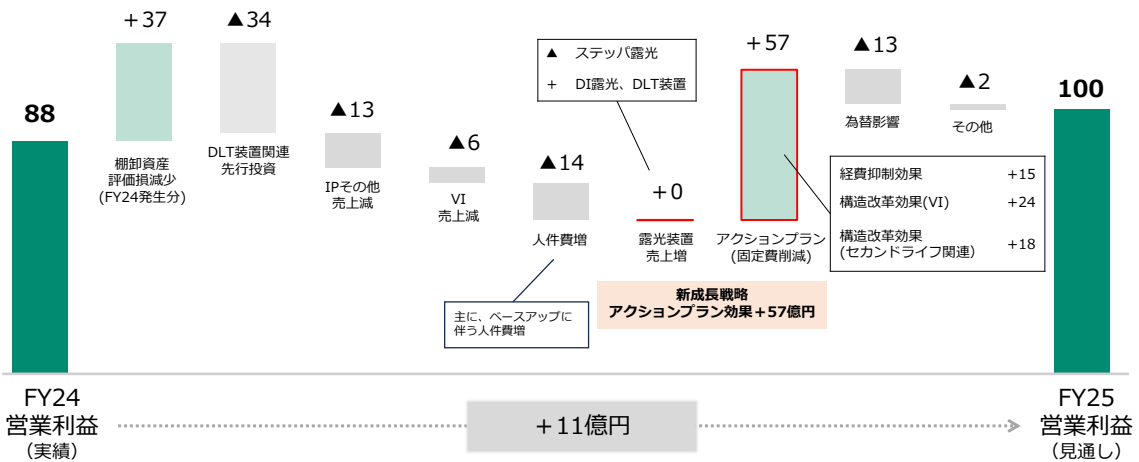
USHIO

単位：億円	2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	1,776	1,700	▲76	▲4.3%	
営業利益	88	100	+11	+13.3%	
営業利益率	5.0%	5.9%	+0.9P	-	
経常利益	124	105	▲19	▲15.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	70	+2	+3.0%	
EPS (円)	70.27	79.45	+9.18	+13.1%	
ROE	3.1%	3.5%	+0.4P	-	
年間配当 (円)	70	70	-	-	
為替レート (円)	USD	153	140	▲13	-
	EUR	164	155	▲9	-

(参考) 為替感応度：1円変動による影響額(通期)【対USD】売上高：約10.0億円、営業利益：約1.2億円

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 14

2025年度 通期業績予想：営業利益増減分析（前年同期比）



営業利益11億円増益の要因ですが、DLT装置関連の先行投資増加34億円、ベースアップによる人件費の増加14億円及び円高による為替影響13億円による利益減少を見込んでいます。一方、2024年度に計上した棚卸資産評価損の減少37億円に加え、構造改革アクションプランによる固定費削減効果57億円により、全体で増益を見込んでいます。

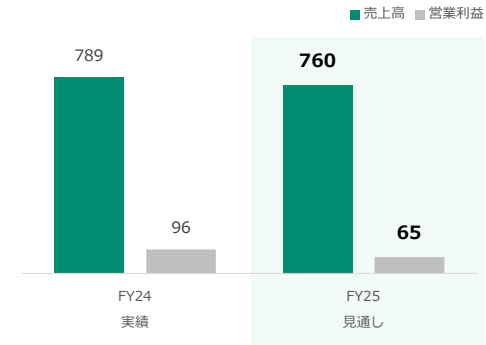
固定費削減のアクションプランに関しては、後ほど新成長戦略進捗報告のパートで詳しくご説明します。

2025年度 通期業績予想：セグメント別業績

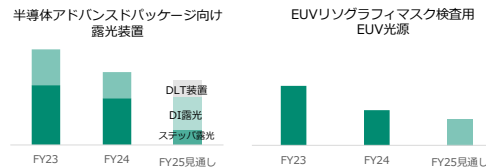
	単位：億円	2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	789	760	▲29	▲3.7%
	営業利益 (営業利益率)	96 (12.2%)	65 (8.6%)	▲31 (▲3.6P)	▲32.5% -
Visual Imaging	売上高	808	760	▲48	▲6.1%
	営業利益 (営業利益率)	7 (0.9%)	45 (5.9%)	+37 (+5.0P)	+516.7% -
Life Science	売上高	61	60	▲1	▲1.8%
	営業利益 (営業利益率)	▲10 (▲17.7%)	▲6 (▲10.0%)	+4 (+7.7P)	- -
Photonics Solution	売上高	103	105	+1	+1.8%
	営業利益 (営業利益率)	▲4 (▲4.0%)	▲4 (▲3.8%)	+0 (+0.2P)	- -
その他	売上高	13	15	+1	+9.2%
	営業利益 (営業利益率)	0 (6.0%)	0 (0.0%)	▲0 (▲6.0P)	- -
連結合計	売上高	1,776	1,700	▲76	▲4.3%
	営業利益 (営業利益率)	88 (5.0%)	100 (5.9%)	+11 (+0.9P)	+13.3% -

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 16

2025年度のセグメント別業績予想は掲載の通りです。
次ページ以降で詳細をご説明します。



【参考情報（売上高推移）】



■ 事業環境想定

生成AI関連は市場成長も、半導体市場(全般)の需要回復は緩やか米国の関税措置による半導体産業への影響は注視

- サブストレート基板市場は、過剰キャパシティ状態が継続し投資は低調
- スマホ、PCなどの最終製品の需要は緩やかな回復
- パワー半導体及び電子デバイスの需要は引き続き不透明
- 関税動向等で環境の不透明感が増し投資様子見による影響を懸念

■ 売上高 : 前年同期比 29億円減収

- ステップパ露光装置は販売が減少。DI露光装置の販売は微増
- DLT装置は4Qから売上計上開始も、環境不透明感から一部案件が遅延
- 光源(露光用ランプ等)は、安定した稼働により横ばいを見込む
- EUVは単価下落で売上減。ただし、収益性はコスト改善で維持

■ 営業利益 : 前年同期比 31億円減益

- DLT装置関連の先行投資が拡大
- 露光装置の生産稼働率は、緩やかな解消を見込む

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 17

インダストリアルプロセス事業は、前年同期比で減収減益の見通しです。

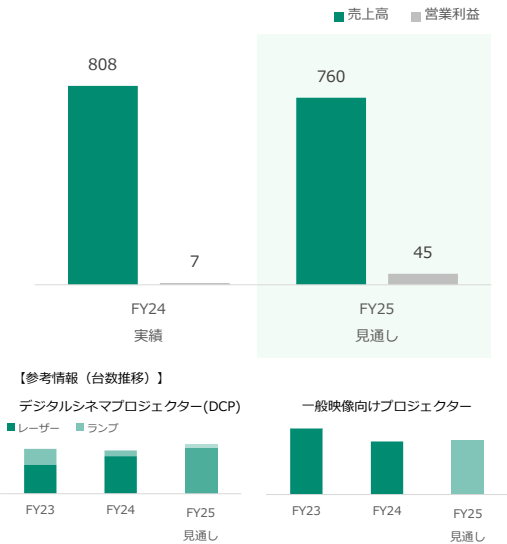
半導体市況は回復の兆しがあるも、サブストレート基板市場の過剰キャパシティ状態が継続し、投資は低調に推移すると見込んでいます。また、米国の関税動向等による不透明な市況環境から投資判断遅延の懸念も出てきています。

これらを背景に、ステップパ露光装置の販売は減少し減収。ダイレクトイメージング露光装置はスマホ等の緩やかな回復により販売は微増の見込みです。

DLT装置は第4四半期からの売上計上を見込んでいますが、足元で不透明な市況環境による投資判断様子見の傾向が強まり、一部案件で遅延が生じています。

利益面は、DLT装置関連の先行投資拡大で減益の見込みです。

なお、2026年度は、これらの状況が好転し、サブストレート基板市場の過剰キャパシティ状態は解消。DLT装置の販売も増加。それにより、低迷している生産稼働も向上すると見ております。詳しくは、この後の「新成長戦略の進捗報告」にてご説明します。



■ 事業環境想定

需要は堅調も、中国経済や米国の関税措置の影響を注視

シネマ市場

- 映画館の稼働及びプロジェクターの置き換え需要は堅調な見込み
- プロジェクター搭載の光源の固体光源化傾向が継続
- 外国映画関税動向による懸念があるも、業績への影響は不透明

一般映像市場

- 大規模演出や最先端の映像演出ニーズの高まりで需要は堅調

■ 売上高 : 前年同期比 48億円減収

- シネマ及び一般映像ともにプロジェクター販売台数は増加
- プロジェクター用ランプは、固体光源化の影響で減少
- 円高の為替影響による減収を見込む

■ 営業利益 : 前年同期比 37億円増益

- 棚卸資産評価損の減少及び構造改革の実施による収益性改善を見込む

ビジュアルイメージング事業は、前年同期比で減収増益の見通しです。

シネマ市場では、ハリウッドストライキ影響は解消し、映画館での置換え需要が堅調に推移すること。一般映像市場も、需要が堅調に推移することから、プロジェクター販売は増加を見込んでいます。

一方、プロジェクターの固体光源化影響により、ランプ販売は減少及び円高による為替影響により、全体で減収の見込みです。

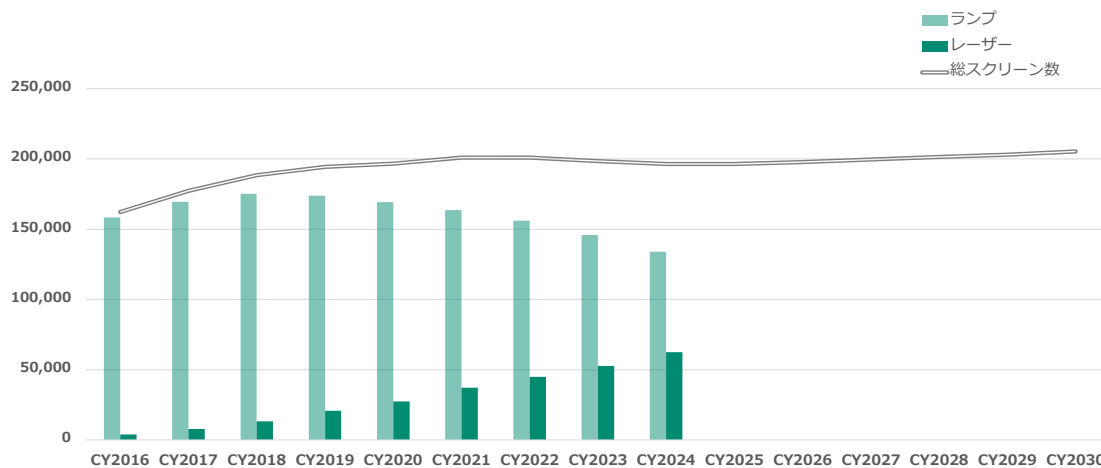
今回、シネマスクリーン数の今後の予想を含む推移を次ページに掲載しておりますので、後ほどご覧ください。

なお、外国映画関税動向の懸念があるものの、業績への影響は不透明なため、予想には織り込んでいません。

営業利益は、前期に計上した棚卸資産評価損の減少及び構造改革の実施により収益性の改善が進み、増益の見込みです。

(スライド20ページへ)

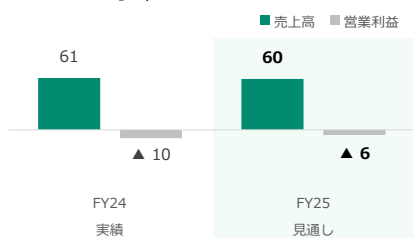
■光源別シネマスクリーン数及び総数の推移予想



2025年5月13日現在、ウシオ調べ

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 19

Life Science事業



■事業環境想定

メディカル機器等で安定的な需要が継続

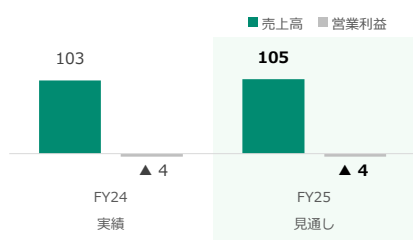
■売上高 : 前年同期比 1 億円減収

- 環境衛生向け及びメディカル機器の販売は横ばいを見込む

■営業利益 : 前年同期比 4 億円増益

- 新規事業案件のモニタリング強化及びコスト抑制で収益性改善を見込む

Photonics Solution事業



■事業環境想定

半導体等の産業用途中心に安定的な需要が継続

■売上高 : 前年同期比 1 億円増収

- 半導体関連中心に販売は横ばいを見込む

■営業利益 : 前年同期比 0 億円増益

- 開発案件の見直しによる収益性改善を見込む

ライフサイエンス事業とフォトニクスソリューション事業は、売上高に大きな変化はなく概ね横ばいで推移。営業利益は、案件単位の選択と集中を継続することで収益性の改善を進め、増益となる見込みです。

1株当たり
期末配当額

【配当方針】

安定的な配当

新成長戦略の方針：
FY24～FY26:下限配当70円/年を設定

2025年度 **70円/年（予定）**

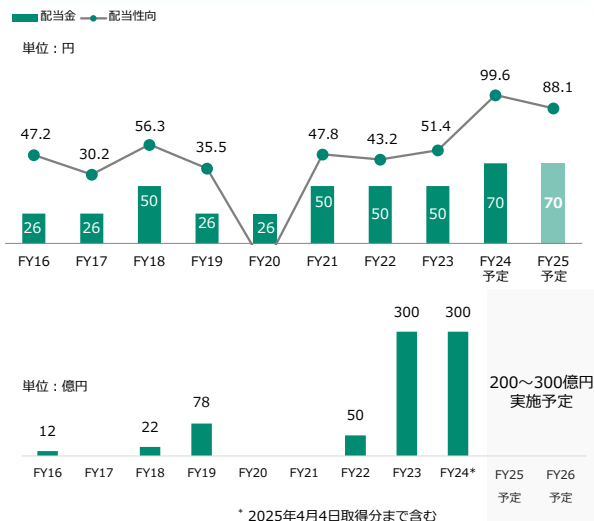
自社株投資

【自己株式取得の方針】

機動的に実施

新成長戦略の方針：
FY24～FY26で累計500～600億円の
自社株投資を実施予定

2025～2026年度
200～300億円実施（予定）



2025年度の株主還元については、新成長戦略の方針に則り、計画通り実施予定です。

1株当たり配当については下限配当70円を維持する予定です。
 自社株投資については、新成長戦略の方針通り、2025年度と2026年度で残りの
 200～300億円を実施する予定です。
 ただし、今年の買い付けについては、現在、新成長戦略の各施策実行の検討をして
 いることもあり、今後、適切なタイミングにて開始する予定です。

以上で2024年度業績及び2025年度業績予想の説明を終わります。

I. 2024年度 業績概要

II. 2025年度 通期業績予想

III. 参考資料

事業セグメントと主な製品

USHIO

事業セグメント	主要事業・製品	製品例					
Industrial Process	光源： 露光用ランプ、OA用ランプ、光学機器用ランプ他 装置： 露光装置、キュア装置、EUVマスク検査用光源、保守メンテナンスサービス他	 露光用ランプ	 OA用ランプ	 ステッパ露光装置	 ダイレクトイメージング露光装置	 EUVマスク検査用EUV光源 <small>(提供：TNO)</small>	
Visual Imaging	光源： シネマ用ランプ、データプロジェクター用ランプ他 装置： デジタルシネマプロジェクター、一般映像向けプロジェクター、映像関連機器、保守メンテナンスサービス他	 シネマ用ランプ	 データプロジェクター用ランプ	 デジタルシネマプロジェクター	 一般映像用プロジェクター	 ディスプレイLEDウォール	 映像周辺機器
Life Science	光源： 「Care222 [®] 」搭載製品他 装置： 紫外線治療機器他	 抗ウイルス・除菌技術「Care222 [®] 」搭載製品	 紫外線治療機器「セラビームシリーズ」				
Photonics Solution	光源： 固体光源	 固体光源 (LD/LED)	 レーザーモジュール				

四半期推移《損益》

単位：億円	2023年度				2024年度				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減額	増減率
売上高	392	457	475	469	375	481	424	495	+26	+5.6%
営業利益	20	29	52	27	3	39	31	14	▲13	▲48.3%
営業利益率	5.2%	6.4%	11.0%	5.9%	0.9%	8.2%	7.4%	2.9%	▲3.0P	-
経常利益	28	34	63	34	14	39	50	19	▲14	▲42.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17	24	44	20	2	20	34	10	▲10	▲49.9%
EPS(円)	15.36	21.65	40.72	20.06	2.92	20.26	36.07	11.56	▲8.50	▲42.4%
為替レート (円)	USD	136	144	149	147	155	153	149	+7	-
	EUR	148	158	159	160	167	166	162	+0	-

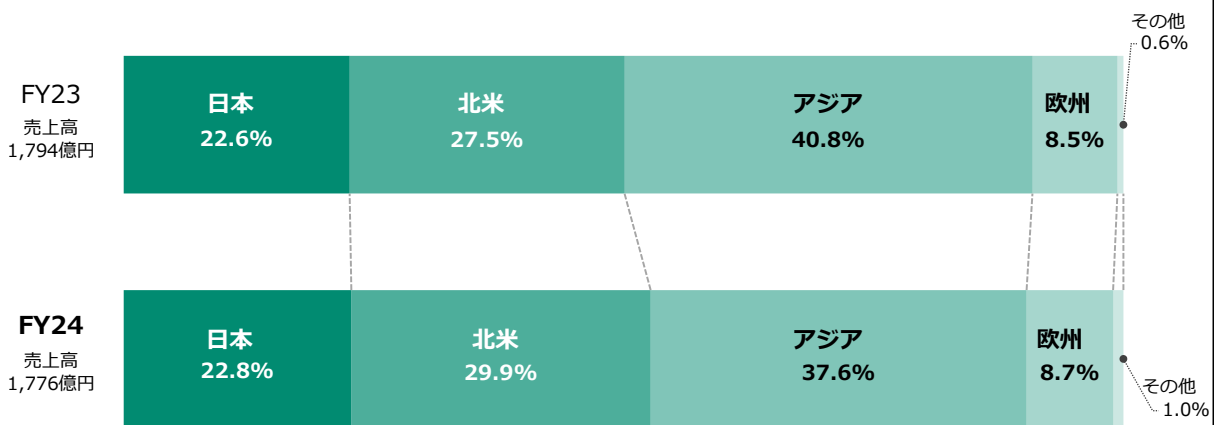
四半期推移《セグメント別損益》

	単位：億円	2023年度				2024年度				前年同期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減額	増減率
Industrial Process	売上高	174	203	225	217	155	220	170	243	+25	+11.7%
	営業利益	22	17	40	28	10	41	18	25	▲3	▲11.2%
	営業利益率	12.9%	8.4%	18.1%	13.1%	6.7%	19.1%	10.9%	10.4%	▲2.7P	-
Visual Imaging	売上高	176	212	203	212	175	216	211	205	▲7	▲3.6%
	営業利益	6	23	15	12	▲4	3	15	▲7	▲20	-
	営業利益率	3.5%	11.2%	7.8%	6.1%	▲2.7%	1.6%	7.5%	▲3.5%	▲9.6P	-
Life Science	売上高	13	13	13	11	15	15	14	16	+4	+34.8%
	営業利益	▲4	▲7	▲4	▲6	▲1	▲3	▲2	▲2	+3	-
	営業利益率	▲32.7%	▲57.1%	▲36.1%	▲54.6%	▲11.1%	▲25.4%	▲16.7%	▲17.6%	+37.0P	-
Photonics Solution	売上高	25	25	28	23	25	25	24	26	+3	+16.6%
	営業利益	▲3	▲3	▲1	▲6	▲0	▲2	▲0	▲0	+5	-
	営業利益率	▲12.9%	▲14.9%	▲5.0%	▲28.9%	▲2.3%	▲8.6%	▲2.0%	▲3.1%	+25.8P	-
その他	売上高	2	3	3	3	2	3	3	3	+0	+10.2%
	営業利益	▲0	▲0	1	0	0	0	▲0	0	▲0	▲37.9%
	営業利益率	▲22.9%	▲16.7%	51.7%	23.5%	1.1%	8.8%	▲0.6%	13.2%	▲10.3P	-
連結合計	売上高	392	457	475	469	375	481	424	495	+26	+5.6%
	営業利益	20	29	52	27	3	39	31	14	▲13	▲48.3%
	営業利益率	5.2%	6.4%	11.0%	5.9%	0.9%	8.2%	7.4%	2.9%	▲3.0P	-

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 25

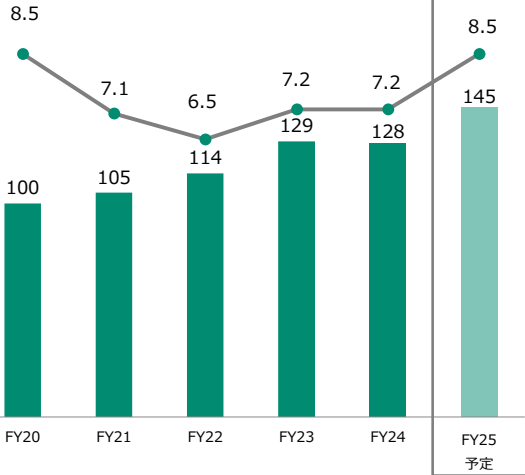
地域別売上高比率

USHIO

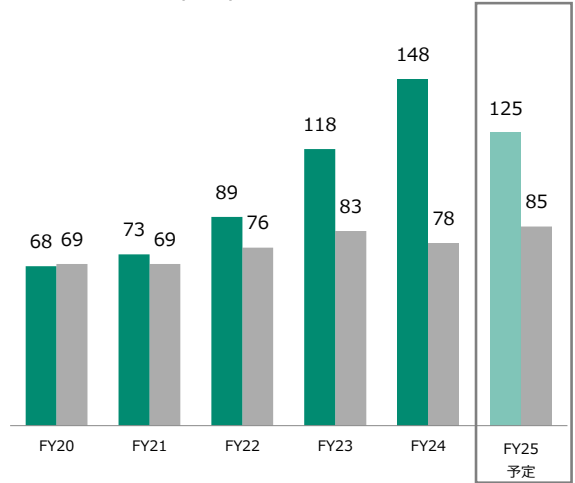


研究開発費／設備投資額・減価償却費

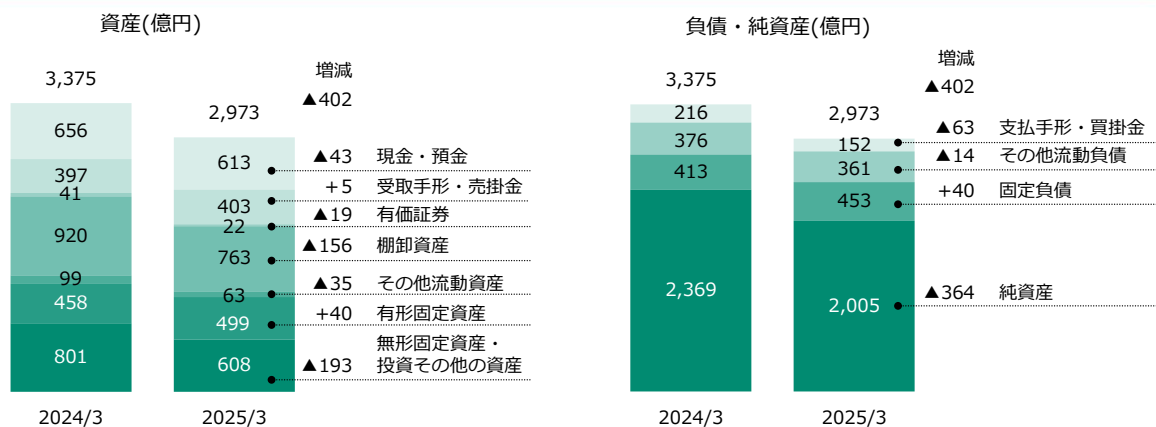
■ 研究開発費(億円)
— 売上高研究開発費率(%)



■ 設備投資額(億円)
■ 減価償却費(億円)



貸借対照表

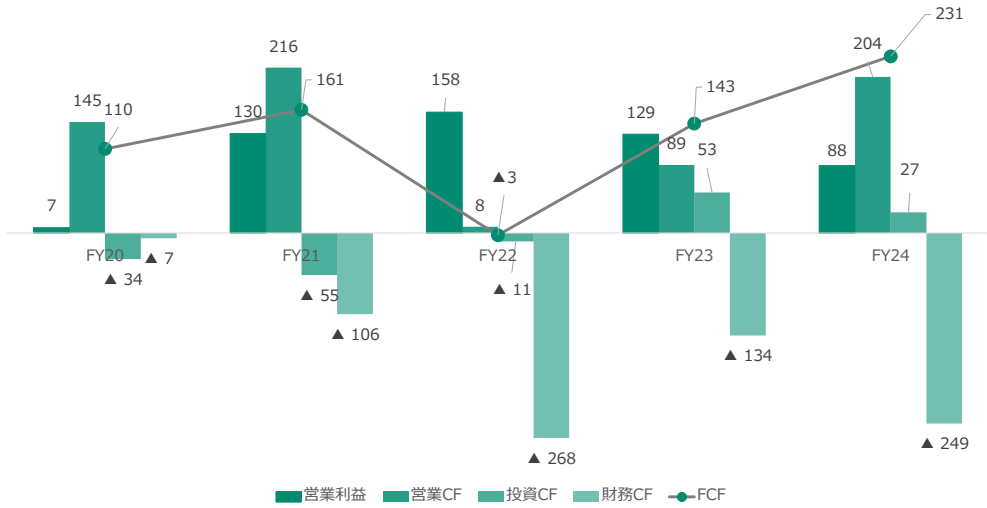


回転月数(ヶ月)	2024/03	2025/03
売上債権	2.6	2.7
棚卸資産	5.9	5.7
CCC	6.9	7.1

自己資本比率(%)	2024/03	2025/03
	70.2	67.4

キャッシュフロー推移

単位：億円



AI	Artificial Intelligence	人工知能
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
DLT	Digital Lithography Technology	デジタルリソグラフィ技術
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
半導体アドバンスドパッケージ		チップレットをはじめとする半導体の2xD、3D化に対応する最先端のパッケージ分野

IRサイト及びIRメール配信サービスのお知らせ

- 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」では、様々なIR情報を掲載しております。
- 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように**IRメール配信サービス**を導入しております。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

🖥️ オフィシャルWebサイトもご活用ください



投資家情報





統合報告書(Ushio Report 2024)





「大和インターネットIR表彰 2024」「2024年度 全上場企業ホームページ充実度
ランキング」
「優秀賞」受賞
「総合部門 最優秀サイト」選定

IRメール配信サービス
ご登録はこちら



<免責事項>

本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

ウシオ電機株式会社

IR室

(03) 5657-1007

ir@ushio.co.jp

<http://www.ushio.co.jp/jp/ir>